

児童書 ご担当者様

梓書院のオススメ近刊
11月発売予定!

チャドとクラークの ぼうけん島



対象年齢
6歳～小学校低学年（ひとりで物語が読めるようになる時期に）

明日、目がさめたら、さっそくしゅっぱつだ!

不慮の事故で無人島に流れ着いた裕福な家の飼犬・クラークが、野生のサル・チャドと出会い、飼い主のもとへ帰るために未開の島を旅する友情と自立の物語。愉快的動物たちに助けられながら、はたしてふたりの冒険はどうか……?!

【体裁・価格】

上製/A4変形判（タテ210mm×ヨコ260mm）
48ページ/定価：本体1,800円＋税

作者/竹清 仁（たけきよ・ひとし）
演出家・アニメーション映画監督

1967年、福岡県に生まれる。
2012年、エンターテインメントスタジオ「モンブラン・ピクチャーズ」を設立。日本をはじめ世界7カ国で劇場公開されたCGアニメーション映画「放課後ミッドナイト」を監督。



★販促物を多数揃えています！ご希望の販促物にチェックをお願いいたします！

- POP（A6サイズ）
- イラスト&サイン入り色紙
- ポスター（お選びください：A2 or A3）
- キャラクター装飾パネル

梓書院 (貴店番線)	ご担当	日付	注文	ISBN 978-4-87035-560-6 C8771
	様		冊	チャドとクラークの ぼうけん島
作/竹清仁 文/菜のや 絵/瀬上コウジ				福岡市博多区千代3-2-1 (tel) 092-643-7075

【ご注文は FAX：092 - 643 - 7095 まで】

絵本『チャドとクラークのぼうけん島』書籍詳細

本書の内容	<p>ある嵐の夜、思いがけない海の事故で無人島に流れ着いた裕福な家の飼い犬・クラーク。悲しみにくれていたクラークは、海でつりをしていた野生のサル・チャドと出会います。家族のもとへ帰りたいというクラークのため、ふたりは山あり谷ありの島での冒険をスタートさせます。</p> <p>ひとりじゃ何もできないクラークと、ずっとひとりで生きてきたチャド。性格も育ってきた環境もちがうふたりは、島で出会う愉快的動物たちに助けられながら、無事に目的を果たすことができるのでしょうか？</p> <p>そして、冒険を通して生まれた友情はふたりをどう変えていくのでしょうか？</p>
テーマ	友情、自立、冒険、多様性
企画意図	<ul style="list-style-type: none">・日本版ディズニーをめざし、映像会社がオリジナルコンテンツ（原作作品）をどんどん発信していきたいという想いのもと、映像化を目指す第一歩として絵本の出版を企画しました。・世代を超えて愛されるロングセラー作品を生み出したいというコンテンツメーカーとしての想いがあり、『100万回生きたねこ』『はらぺこあおむし』『ぐりとぐら』などのようなロングセラー絵本をめざし、映像会社と出版社がコラボして「絵本」というかたちで作品を表現しました。・昨今の『妖怪ウォッチ（福岡発）』ブームのように、福岡のコンテンツ産業はそのクオリティ、勢い共に目を見張るものがあります。「福岡産コンテンツ」として、絵本というジャンルでも福岡から全国、世界にはばたく作品を送り出したいと思い制作しました。・「本好きな子に育ってほしい」という親の想いにマッチする、本好きになるきっかけとなる絵本をめざしています。・普遍的なテーマを取り扱っているため、世代を越え、世界でも愛され得る物語となっています。
読者ターゲット	メインターゲット：6～8歳（ひとりで物語を読めるようになる時期に） サブターゲット：3～4歳児（読み聞かせが楽しい時期に）、大人（物語をじっくり楽しめる）
宣伝ポイント	<ul style="list-style-type: none">・この絵本では、チャドとクラークが出会い、一緒に冒険をします。相手の自分とは違うところにとまどったり、ケンカしたり、一緒にあそんだり、冒険を通してふたりはどんどん仲良くなっていきます。このふたりのような距離感を誰しも一度は経験したことがあるのではないのでしょうか？この絵本を通して、これからたくさんのお会いを経験するお子さまに、出会いと冒険の素晴らしさに気付いてもらいたいと願っています。・カラフルな絵とワクワクドキドキのストーリーで、「映画のように」読める、流れのある作品になっています。文字ばかりの児童文学はまだ早い、そんな時期のお子さまにピッタリです。ひとりで読めた経験は、大きな自信につながります。・本が好きになる「きっかけ」を大切にしたい、そんな想いが込められています。
類書との差別化	<ul style="list-style-type: none">・海外でも高い評価を得ている、福岡の映画監督が手がけた絵本です。・映画監督ならではの「映画のように」読める、流れのある作品になっています。・海外作品のようなアーティスティックな絵と世界観が魅力です。・楽しいだけでなく、大人が読んでも思わず泣ける味わいのある作品です。・冒険心をくすぐるワクワク感だけでなく、旅を通して、多様性を受け入れること、自立をすることの大切さを学ぶことができます。・友達との冒険が自立や成長につながることを教えてくれます。・ずっと一緒にいれなくても友情は消えないことを教えてくれます。